

活動テーマ

地域の人々とつくる『渋川ESDミュージアム』

実践事例について

全学年が、地域のくらしや自然をテーマに環境学習に取り組んでいる。草津市が推進する地域協働合校事業を活かし、地域の様々な世代の人々に教わりながら学習を進めている。その学習成果をまとめて、校内で「渋川ESD(いいまち 渋川 だいすき)ミュージアム」を開館し、他学年の展示を見合ったり、地域の人々に情報発信したりしている。

1 本校の環境教育について

(1) 地域協働で進める環境教育

本校の環境教育の研究主題は、「渋川を愛し、持続可能な社会の実現に向けて主体的に行動できる子どもの育成」である。環境教育で、子どもたちは地域の身近な自然やくらし、文化について学んでいる。この学びを通して、人と人とのつながりを創出し、ふるさとへの愛着や誇りを深めることをねらいとしてきた。

(2) 重視するポイント

本校の環境教育のポイントは、持続可能な発展のための教育、ESDの視点に立った環境教育のプログラム開発を進めていることである。ESDの視点に立った環境教育を進める上で、3つの「つながり」を大切にしている。

(3) 3つの「つながり」について

ア 教材の「つながり」

教材間の「つながり」を意識して取り組めるように、ESDカレンダーを作成し計画的に実践している。ESDカレンダーとは、1年間の教育活動の中で、各教科・総合的な学習の時間・特別活動等がどのように結びついているのか、カレンダーに項目を示し、その関連を分かりやすく結んだものである。

イ 人の「つながり」

学びの中で子ども同士の「つながり」を大切にしている。体験後に、いかに子ども同士を交流させ、個々の気づきをみんなのものにするかという課題のもと、授業の在り方について研究をしている。また、積極的に人材を活用し、学習の中で世代を越えた地域内外の人との「つながり」も積極的に取り入れている。

ウ 能力・態度の「つながり」

ただ体験を通して地域のくらしや自然について調べるだけではなくて、調べて気づいたことやわかかったことをまとめ、それをもとに身近な環境について考え、行動に移したり、地域に情報発信したりする態度の育成を目指している。

2 地域と学校が協働した活動

ふるさとの人や自然、くらし、文化に愛着や誇りを育む機会にするために環境教育を核に地域協働合校事業を進めている。

2年生は、生活科「大きくそだてわたしのやさしい」の学習では、夏野菜(ミニトマト・オクラ・ピーマン・ナス)と冬野菜(大根)を育てた。それぞれの野菜の葉や花、実を観察することで特徴を捉えたり実際に収穫する経験を通して、育てる大変さとともに喜びを感じたりすることができた。

また、「とび出せ！まちのたんけんたい」の学習では、自分の住んでいる渋川の町には何があるのかなと考えながら、実際に渋川の町に出て町たんけんを行った。詳しく知りたいお店や施設にグループごとに行き、インタビューをしたり、話を聞かせてもらったりして新たな気づきにつなげ、学級で交流を行った。今まで何気なく過ごしていた町をしっかりと見たり、話を聞いたりすることで、新たな発見や気づきが生まれ渋川の町に対する愛着がより強いものになった。



【豊屋さんの中を見学する様子】

3年生は、耳の不自由な人、目の不自由な人、車いすを利用されている人など、障がいのある人から話を聞いたり、白杖体験などの活動をしたりした。耳の不自由な人も、目の不自由な人も、車いすを利用している人も、同じ社会で暮らしていることを実感できた。その中で、自分にはどんなことができるかなどを考えるきっかけになった。しかし、話を聞いたり調べたりするだけでは、まだまだ自分事として捉えることが難しいと感じることもあった。



【車イスバスケットボールを見学する様子】

4年生は、学区内にある伊佐々川や葉山川の探検を通して、多様な生き物が生息していることや外来種が在来種にもたらず問題、また山が川につながっていることなど、新たな課題となる様々な発見ができた。体験を通して知ったり、課題について調べたりしたことから、水とくらしの関わりについてグループ交流をしたり、タブレットPCを使ってプレゼンしたりして、課題への関心を広げたり、友達の課題とのつながりをもとに探究できたりすることができた。



【葉山川を探検する様子】

3 おわりに

本報告では、3事例であるがどの学年でも地域の方に協力を得て子ども達の豊かな体験の場・学習の場を提供していただいている。活動を通して子どもたちは地域に対する愛着を育み、地域行事に積極的に参加する児童も多い。また、保護者や地域の方々にも地域のことを知ってもらう機会となっている。テーマの通り、子どもも大人も活動に関わることで学び、ふれ合いを深めている。

同じ活動でも、子どもの実態に合わせて内容を工夫する余地がある。「毎年取り組んでいるから…」という活動にならないように、めあてをしっかりと意識して取り組みたい。そして、学んで終わりにならないよう、学習をまとめ、「渋川 E(いいまち) S(しぶかわ) D(だいすき) ミュージアム」の中で地域に発信したり、自分には何ができるかという行動につなげたりしていきたい。

| | |
|--------|----------------------------|
| 学校名 | 草津市立渋川小学校 |
| 住所 | 草津市西渋川二丁目8-55 |
| 電話番号 | 077-566-6116 |
| E-mail | info@shibukawa-p.skc.ed.jp |